

「下水道管路情報の共通プラットフォーム構築に向けたモデル実証事業」の採択について

<事業名称>

都市部における下水道管路施設等の電子台帳導入による効果検証事業

<事業概要>

地方公共団体を実証のフィールドとして、標準仕様に基づく管路施設の電子台帳を作成、運用することにより、点検及び調査結果の維持管理情報の効率的な入手手法による導入効果等について検証するもの

<事業実施共同研究体>

実施事業体：国土交通省
研究体名：国際航業・三浦市・郡山市・柏市共同研究体

事業体制

代表機関名：国際航業株式会社 共同体：神奈川県三浦市
福島県郡山市
千葉県柏市

<経過及び今後のスケジュール>

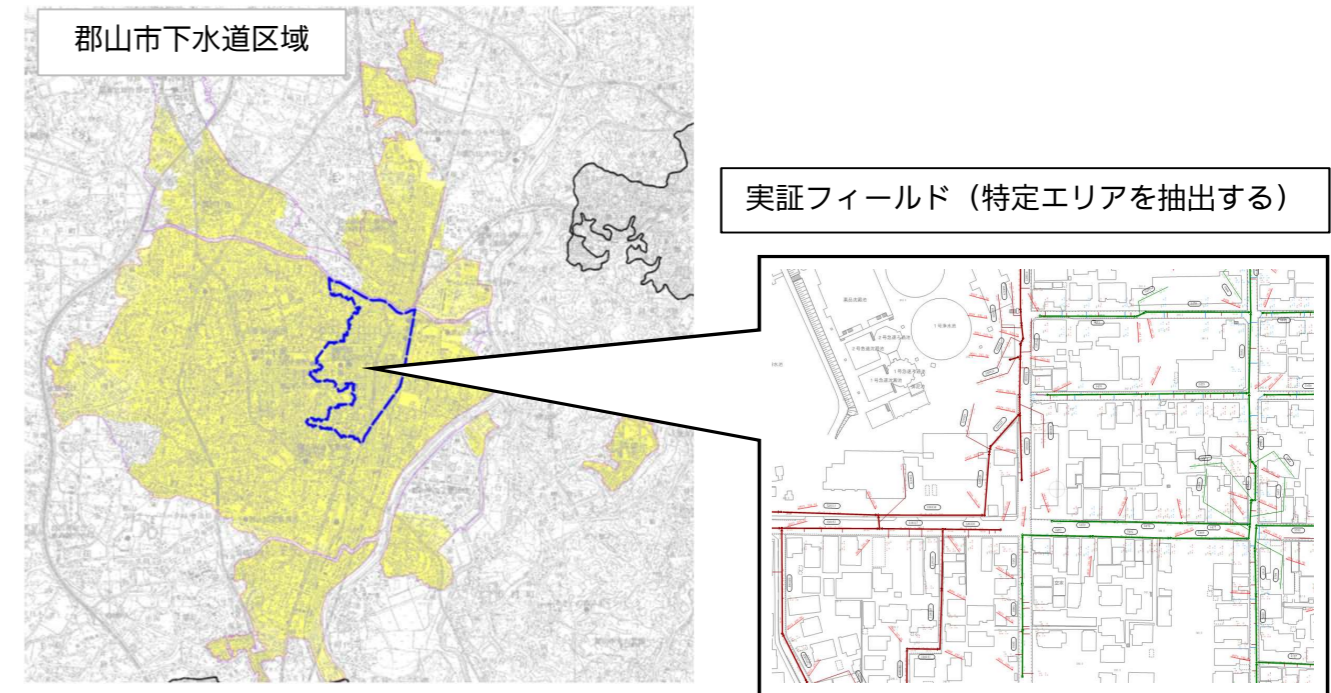
申請日：令和3年7月30日
採択日：令和3年8月20日 国水事第21号
委託契約：国と国際航業で契約 委託料限度額 48,136,000円（税込み）
委託研究実施期間：令和4年3月18日まで
協定締結：協定書は新型コロナウイルスの対応として、各市と郵送にて9月に締結予定。
調印式は執り行わない。

今後のスケジュール

9月 協定締結
10～12月 システムの導入
1月 効果検証
2～3月 報告書とりまとめ

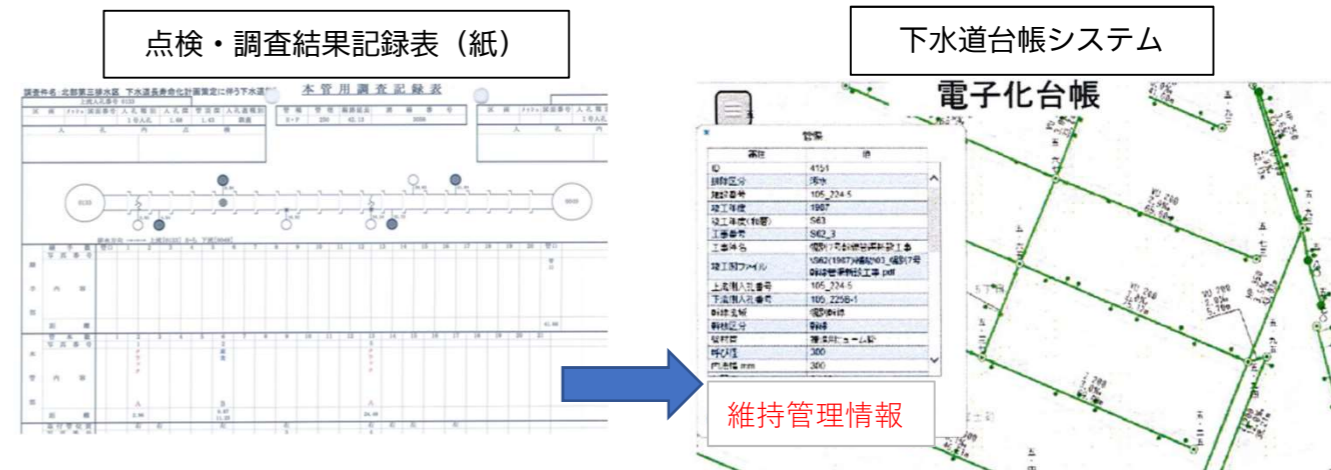
<検証事業内容>

検証事業箇所（案）



①維持管理情報の電子化

点検及び調査結果の維持管理情報を台帳システムに入力（電子化）

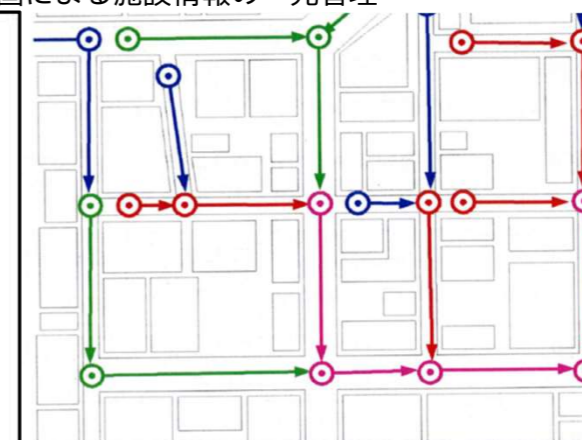


②下水道ストックマネジメント計画による施設情報の一元管理

下水道台帳管理システムにおいて、施設情報や維持管理情報を一元管理することで同種あるいは類似業務の際の重複作業（過去の資料の調査等）を防止することができ、計画図作成の軽減につながる。

・ストックマネジメント計画の場合

- 赤色：緊急度Ⅰ（改築対象）
- 紫色：緊急度Ⅱ（改築対象）
- 青色：緊急度Ⅲ（維持管理対象）
- 緑色：損傷なし（維持管理対象）



下水道台帳図上での分類出カイメージ